

## 東日本大震災チャリティー学習会（2015.9.13）

今年で5回目となるチャリティー学習会に宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）職員の庄子陽子氏をお迎えし、「聴覚障害者と震災」というテーマでお話していただきました。震災当時の庄子さんは障害者の職業訓練校で手話通訳員の仕事をしており、地震発生当時もその職場で仕事でした。帰宅途中、職場と自宅の間にあつたろうあ協会に寄り、片づけの手伝いなど行いましたが電気も寸断されていたので、日が落ちれば何も見えない状態の中帰宅。ヘドロくさい臭いは感じていましたが、大きな津波が襲ってきていたことや具体的な災害の情報は、翌日の朝刊で知ったそうです。情報を入手する手段が断たれていたため、リアルタイムで震災の状況を知っていたのは全国のテレビを見ていた人たちの方だったとのこと。健聴者でも寒い時期、外からの防災無線は聞こえにくい状態の中、聴覚障害者に至ってはわけのわからないまま、引きずられるように逃げ、被災された人たちの中で要約も頼みにくく、通訳者のいない避難所生活がはじまりました。未曾有の大災害から何をもとにろうあ協会が立ち上がったかという、20年前の阪神淡路大震災の活動をまとめた兵庫の取り組みでした。救援宮城本部を立ち上げ、活動を開始しましたが、安否確認をしようにも、停電のためパソコンに入力してある名簿の確認ができない。そこで会費の領収書をもとに名簿を作成しながら、救援物資、支援物資の整理、仲間を支えるボランティアの活動が広がっていきました。時の流れとともに支援内容はメンタル支援、住宅支援と変わっていき、人材や資金の不足の問題もあがってくるようになりました。そんな時、宮城県側から聴覚障害者支援の声が上がり、県の委託事業として、運営主体を救援宮城本部（現在の一般社団法人・宮城県聴覚障害者福祉会の基）とする、みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター（愛称・みみサポみやぎ）を設立、その2年後、みみサポみやぎという愛称はそのままに、情報提供施設となる宮城県聴覚障害者情報センターの設置となりました。市町村などに設置されている通訳者の動きとしては、震災前までは数名の非常勤の通訳者が活動していましたが、震災後全国から54名の応援通訳派遣があり、ベテラン通訳の働きを手本に設置通訳者のあり方などを行政に示すこととなり、これをきっかけに名取市と亘理町の1市1町で「設置」が誕生しました。避難生活は日を追って生活環境が変わり、気持ちも変わるなか、変わらず求められるのは「必要な情報」が欲しいということでした。聴覚障害者が思う情報とは何かを考える日々が続いたそうです。そして、みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター「みみサポみやぎ」へと移行した際、取り組みの大きなくりとして3つのテーマを決めました。①情報を発信し続けること（ホームページ作成、並行して紙情報の作成）②顔を見に行くこと（相談支援）③聞こえないことを知ってもらうこと（啓発）です。救援宮城本部に難聴協会や要約筆記団体などを取りこみ、5団体で再編しました。（法人移行の再には7団体に増えました。）そして現在、新生みみサポの宮城県聴覚障害者情報センターは、被災県の情報提供としてアウトリーチ型（公共機関などが積極的に手を差し伸べること：ウィキペディアより）の活動を継承し、手話通訳者や要約筆記者の養成・研修を行い、災害時における支援活動の拠点作りも担っています。（現在の職員数10名うち常勤は5名、ろう者3名、難聴者2名、手話通訳士1名、手話通訳者2名、要約筆記者1名、PC要約筆記者1名）支援を通して感じた課題もお話してくださいました。被災して慌てるのではなく、できることから今すぐ始めることがその時

につながると言われました。地震発生当時からは、宮城県内の道路の復旧率は 100%ですが、被災された多くの方がいまも仮設住宅で過ごされています。仮設住宅の耐久年数は 2年～3年とのこと。カビの発生や修復の必要な個所がでてきて補修工事がされているそうです。また、仕事の面では福祉関係の人材の流出がおきており、まだまだ復興とは言えない状況が続いているようです。全国の通研会員や手話に関わる仲間の存在がありがたく、励みになって今までこれたことに感謝しているとも話され、最後に‘被災地が一日でも早く、安心して暮らせるまちになりますように’と締めくくられました。庄子さんは研究誌 119 号の表紙に登場されている素敵なお方ですが、実際にお会いした印象は長身で、明るくとても魅力的なお方でした。インターネットでHPをご覧になれる方は「みみサポみやぎ」をクリックすると 1週間に 1回の更新ペースで配信動画が閲覧できます。探してみてくださいね。

参加者は 52名（ろう者 4名）で、みなさまの参加費合計 52,000円と寄付金 16,500円は庄子さんにお預けし、一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会に寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。